

「いつでも、どこでも、何でも、誰でもがITの恩恵を」

## 「見るテレビ」から「使うテレビ」へ

高度情報化推進室 Vol.24



～「地デジに山あり…」「那珂川町にケーブルテレビあり」～

高度情報化推進室 ☎92-1108

### Q1. 現行のアナログ放送は、どうなるのですか。

現在の地上アナログ放送は平成23年7月まで継続されますが、それ以降アナログ放送は終了し、平成23年7月25日に地上デジタル放送に完全移行の予定です。現在ご自宅にあるアナログテレビでは、地上デジタル放送は受信できません。地上デジタル放送を視聴するためには、次のいずれかで対応しなければなりません。

- ①地上デジタル放送対応のデジタルチューナー（及びアンテナ）を購入する。
- ②デジタルテレビ（及びアンテナ）を購入する。
- ③ケーブルテレビに加入する。

しかし、地上デジタル放送対応の機器等を整備しても、地域によっては電波が弱かったり、届かなかったりする場合については地上デジタル放送を視聴できません。

### Q2. 地上デジタル放送とは、どのようなものですか。

平成15年12月から、関東・近畿・中京圏の3大広域の一部地域で放送が開始され、その後各地域に順次拡大されています。昨年12月に矢板中継局から放送が開始され、来年3月には馬頭中継局が放送開始の予定です。

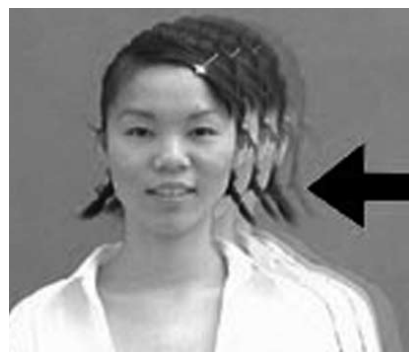
地上デジタル放送では、高画質、高音質のハイビジョン放送で番組が放送されています。また、データ放送を使った字幕サービスや解説サービスが充実されるなど、高齢者や障害者にやさしい放送サービスが提供されます。

地上デジタル放送の詳細や放送エリアの目安などは、(社)デジタル放送推進協会（Dpa）のホームページをご覧ください。<http://www.dpa.or.jp/>

地上デジタル放送が開始されても、地域によっては山や遮蔽物などの影響で放送が全く受信できなかったり、一部のチャンネルしか受信できない地域があります。

### Q3. 地上デジタル放送では、ゴースト障害（画像が二重、三重の多重になる障害）は出ないのですか。

地上デジタル放送では、これまでの地上アナログ放送であったようなゴースト障害は画面に現れません。ただし、受信状況が悪いと、モザイク状ノイズ（ブロックノイズ）が画面に頻繁に現れた後画像が映らなくなる場合や、全く映らない場合があります。これらの原因としては、アンテナが対応していない場合と、電波が弱いか届いていない場合があります。



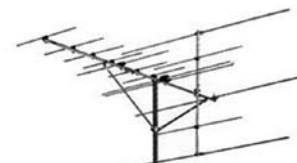
す。那珂川町において、地上デジタル放送を安定して受信するには、ケーブルテレビの加入が極めて有効です。

### Q4. 地上デジタル放送は、VHF アンテナで受信できますか。

地上デジタル放送はUHF帯域で放送されています。そのため他の種類のアンテナ（VHFアンテナやBSアンテナ）では受信できません。また、UHFアンテナにも多くの種類がありますが、現在ご家庭で使用されているUHFアンテナが地上デジタル放送局の受信チャンネルに対応していればそのまま使えますが、対応していない場合はUHFアンテナの交換が必要となります。



UHF アンテナ



VHF アンテナ

### Q5. 地上デジタル放送はBSデジタル放送と異なるのですか。

異なります。地上デジタル放送は地上の放送局からUHF帯域で放送されています。各地域の地上デジタル放送局にアンテナを合わせて受信します。BSデジタル放送は放送衛星（赤道上空38,000km）から放送されます。放送衛星の方向は全国同じで、おおよそ南西方向ですが受信する地域により方位角と仰角が異なります。

### Q6. 室内アンテナでも地上デジタル放送は受信できますか。

電波の強い地域では室内アンテナでも受信できます。ただし、電波の強い地域であっても電波の受信条件や状況により使用できない場合があります。那珂川町では室内アンテナでの地上デジタル放送の受信は、極めて難しいと思われませんが、屋外型の地上デジタル放送に対応したUHFアンテナが必要となります。しかし、屋外型のアンテナの設置場所やご自宅の周囲の地形や建物などの状況により、地上デジタル放送の一部のチャンネルしか受信できなかったり、全く受信できない地域があります。

### Q7. 個人でアンテナを設置して10年以上経過しますが、そのまま使えますか。

地上デジタル放送対応のUHFアンテナであれば使えます。しかし、長期間に渡って屋外に設置してある場合は、アンテナの金属部分の錆<sup>さび</sup>や設置上の緩みが生じている場合がありますので、安全に使用するためには点検が必要と思われます。アンテナ本体の劣化や腐食が著しい場合は交換が必要となります。また、同軸ケーブルについても経年劣化し、ひび割れなどが生じて水分が入り、電波信号の劣化が起これ視聴しにくくなりますので、専門業者へ点検を依頼することをお勧めいたします。

#### 小川地区内電柱調査のお知らせ

町では、小川地区内の電柱調査を行います。道路に建柱された電柱のほか、民地内に建柱された電柱を調査する場合があります。その際には、お声をかけさせていただきますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、期間については、小川地区内全域で10月末まで予定しています。

### Q8. 現在CTBに加入していますが、地上デジタル放送は見られますか。

現在は見られません。地上アナログ放送が平成23年7月に地上デジタル放送に完全移行することから、それに対応するために平成18年度からケーブルテレビ施設の整備工事を実施しています。放送センター設備、伝送路（ケーブル）設備、受信点設備及び送出設備など、デジタル化に対応するための施設整備工事です。平成21年4月から順次地上デジタル放送が見られるようになります。ケーブルにより放送電波を各ご家庭にお届けしますので、お住まいの地域に関係なく地上デジタル放送が安定して視聴できます。

また、新しいケーブルテレビとして次のようなサービスの提供を予定しています。地上デジタル放送やBSデジタル放送（有料放送を除く）などの再送信サービス、加入者間の町内無料電話、テレビによるインターネット、緊急放送やページング放送などの音声告知放送、自主放送などを提供します。さらに、オプションサービスとして、高速インターネット接



続サービス、IP電話、STB（セットトップボックス）のレンタル、BS・CS有料放送の提供を予定しております。

### Q9. 「ワンセグ」って何ですか。

携帯電話、カーナビなどの移動体向けの地上デジタル放送です。もともと技術的呼称として「1セグメント放送」と呼ばれていましたが、(社)地上デジタル放送推進協会によって平成17年9月に「ワンセグ」という名称に決定されました。日本の地上デジタル放送方式では、1つのチャンネルが13のセグメントに分割されており、これをいくつか束ねて映像やデータ、音声を送信しています。ハイビジョン放送は（HD）は12セグメント必要ですが通常画質の放送（SD）は4セグメントで済むため、1つのチャンネルで3つの異なる番組を同時に放送することができます。この13のセグメントのうち、残りの1つのセグメントが移動体向け放送に割り振られています。これを使って放送を行うのが「ワンセグ」です。帯域が通常放送の4分の1と狭いのですが、最新の動画圧縮技術により鮮明な画像が提供されています。